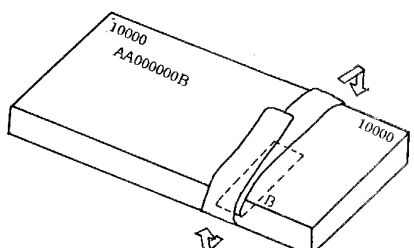
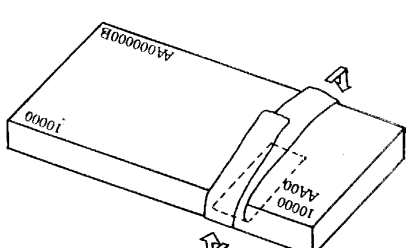
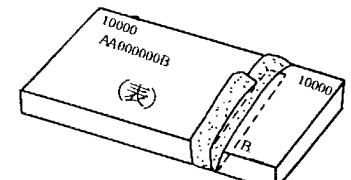
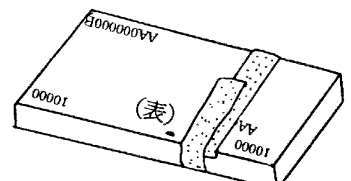
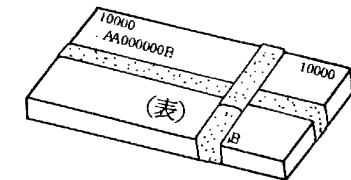
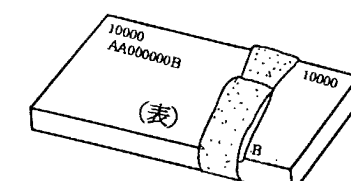


(参考) 銀行券の好ましい施封方法と好ましくない施封方法

好 ま し い 施 封 方 法	好 ま し く な い 施 封 方 法
<p>【小帯】 《機械を使用して施封する場合》</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>① 帯のシール位置が銀行券の表面側となっていること(中差しの方向が下記④のとおりとなっていれば裏面側でも差支えない)</li> <li>② 帯が銀行券に付着していないこと</li> <li>③ 帯のシール部分が剥がれていないこと</li> <li>④ 帯の巻き方向は、記番号がある側に中差しがあり、上(券表面)方向になっていること</li> </ol> <p>《人手により施封する場合》</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>① 帯の封じ目が銀行券の表面側となっていること、その際、のり付け部分が1重目の帯とずれて、はみ出していないこと</li> <li>② 上記②と同じ</li> <li>③ 〃 ③ 〃</li> <li>④ 帯の中差しが50枚目前後となっており、帯の先端が中央部を超えていないこと</li> <li>⑤ 帯の中差しの先端にのり等が付いていないほか、先端が折畳まれていないこと</li> <li>⑥ 上記④と同じ</li> </ol>	<p>【小帯】</p>  <p>○ 帯の中差しの先端が銀行券の中央部を超えているもの(注) (注) 銀行券整理機の構造等の理由でそれが困難な場合は、現行形態のまま持込んで差支えありません</p>  <p>○ 帯ののり付き部分(封じ目)が下の帯と大幅にずれているもの</p>  <p>○ 帯を十文字がけにしているもの</p>  <p>○ 帯の幅が広すぎる(2.5cm超)もの</p>

好 ま し い 施 封 方 法

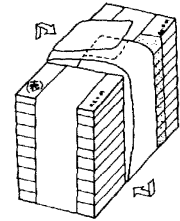
好 ま し く な い 施 封 方 法

【大帯】（結束順序は、たて帯・よこ帯のどちらが先でも構いません）

【大帯】

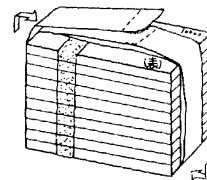
《機械を使用して施封する場合》

【たて帯】



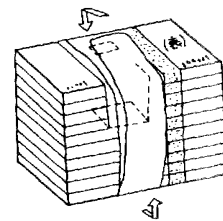
- ① 帯のシール位置が銀行券の表面側となっていること
- ② たて（よこ）帯がよこ（たて）帯、小帯および銀行券に付着していないこと
- ③ 帯のシール部分が剥がれていないこと

【よこ帯】



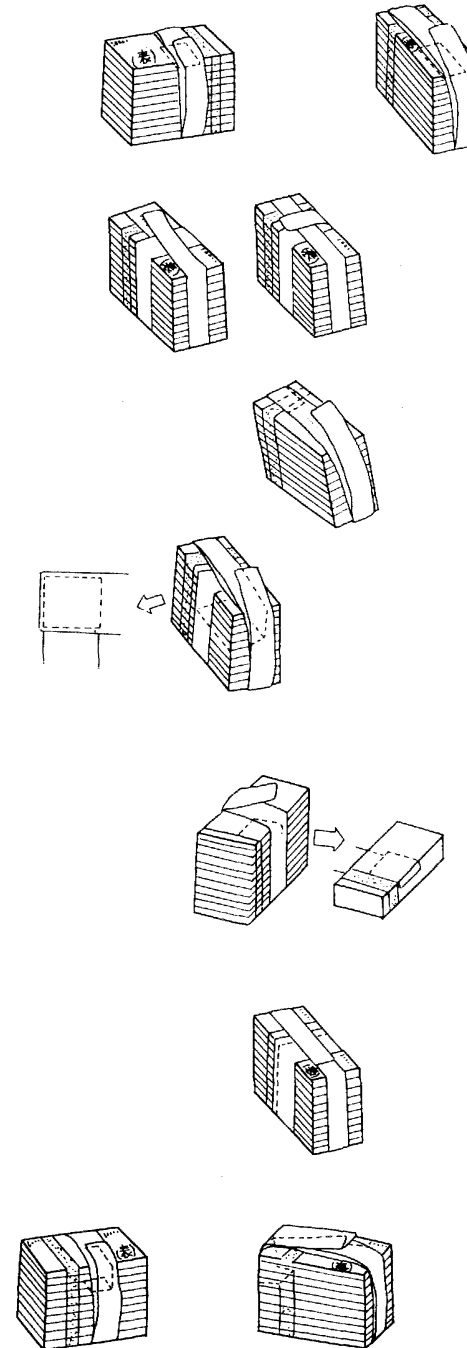
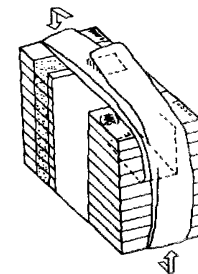
《人手により施封する場合》

【たて帯】



- ① 帯の末端封じ目が銀行券の表面側となっていること
- ② たて（よこ）帯がよこ（たて）帯、小帯および銀行券に付着していないこと
- ③ 帯ののり付け部分が剥がれていないこと
- ④ 帯の中差し位置が3～4把目となっており、中央部を超えていないこと
- ⑤ 帯の中差しの先端にのり等がついていないほか、先端が折畳まれていないこと
- ⑥ 帯の巻き方向は、たて帯の場合は、銀行券の表面を上にし、小帯を右に位置させた時、手前に中差しがあり、上（券表面）方向になっていること。また、よこ帯の場合は、銀行券の表面を上にし、小帯を奥に位置させた時、手前に中差しがあり、上（券表面）方向になっていること。

【よこ帯】



- 帯の中差しが1把目または10把目となっているもの
- のり付けの際、よこ帯（またはたて帯）に、たて帯（またはよこ帯）が挟込まれて結束しているもの（いわゆる袋結束）
- よこ帯の先端を小帯に引掛けて結束しているもの
- たて帯およびよこ帯の先端が互いに交差し折返して結束しているもの（いわゆる握手型結束）
- 帯の中差しを2重に折返して結束しているもの
- 帯の幅が広すぎて小帯が見えなくなっているもの
- 人手により施封する場合の帯の巻き方向が、好ましい施封方法と反対になっているもの